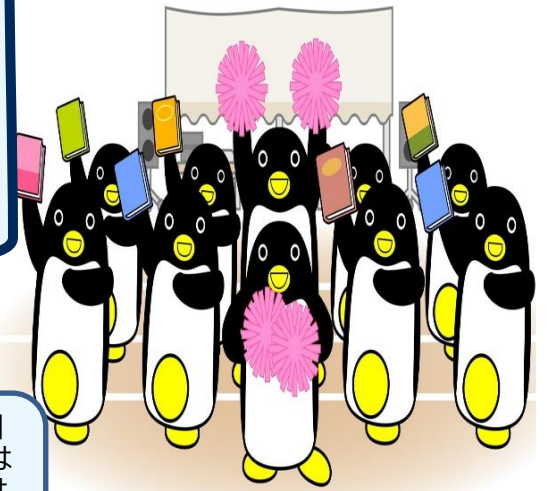


中間考査も終わり、体育祭に向けて練習が本格化しますね。今年はどうな熱戦が繰り広げられるのでしょうか？活躍を期待しています！

今年度最初の図書館だよりをお届けします。図書館には毎月、新しい本が入り、入口近くのテーブルに並べます。中学校の校舎(東校舎)にある本は「予約」できますし、生徒からの「リクエスト」で本を買うこともできます。どちらも用紙がカウンターに置いてありますのでご利用ください。



2023年の本屋大賞

「本屋大賞」は書店員がこの1年間で出会った本の中でもっとも「売りたい」と思う作品に投票し最高得票のものに贈られる文学賞です。今年の実賞作は以下の通りです。現在ほとんどが貸出中ですが、ぜひ予約してください。今年が設立20年目、名作ぞろいの大賞は白鷗図書館ですべて所蔵しています。新着図書コーナーにリストを掲示しますので利用してください。

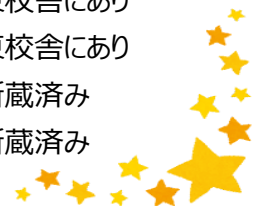


- 大賞『汝、星のごとく』 凧良ゆう 講談社
- 2 『ラブカは静かに弓を持つ』 安壇美緒 集英社
- 3 『光のところにいてね』 一穂ミチ 文藝春秋
- 4 『爆弾』 呉勝浩 講談社
- 5 『月の立つ林で』 青山美智子 ポプラ社
- 6 『君のクイズ』 小川哲 朝日新聞出版
- 7 『方舟』 夕木春央 講談社
- 8 『宙ごはん』 町田そのこ 小学館
- 9 『川のほとりに立つ者は』 寺地はるな 双葉社
- 10 『#真相をお話します』 結城真一郎 新潮社

東校舎にあり
所蔵済み
所蔵済み

東校舎にあり
所蔵済み
所蔵済み
東校舎にあり
東校舎にあり
所蔵済み
所蔵済み

発掘部門「超発掘本！」『おちくぼ姫』田辺聖子 KADOKAWA
翻訳小説部門大賞『われら闇より天を見る』クリス・ウィタカー 早川書房



今月の新着図書Pickup！

『昆虫学者、奇跡の図鑑を作る』 丸山宗利 幻冬舎新書

「昆虫少年」「図鑑少年」だった大学で昆虫学を教える研究者の著者が「図鑑おじさん」となり、のべ350名近い方々と『学研の図鑑LIVE昆虫 新版』を作りました。その舞台裏が綴られています。「たった1年で日本中の虫を採って撮る」など目次をみるだけでもワクワクします。複雑な作業の数々や選ぶ大変さ。最終的には3万枚を超える写真と4200種以上の昆虫が採用されず、2800種の掲載になったそうです。「この図鑑はみんなで作ったみんなの図鑑」そして「図鑑をつかった人」と「図鑑を見る人」の接点も広がっています。「この時私は鬼になった。良い図鑑を作るためにはなんでもしよう。 (中略) やはり生きた昆虫の写真を見せたい。(中略) あの時の目の輝きに対する思いが (中略) 強い原動力となった。」(本文「おわりに」) という体験も知ってほしいと思います。また、図鑑を軽くするため、紙も開発されています。その「図鑑」は現在所蔵してませんが、次回購入の候補にします。この新書はカラー版で写真も載っています。まずはこちらを読んでみませんか。